

2 事業の概要

1. 中期事業計画の策定

2012 年度を起点とする中期計画（2012 年度から 2016 年度）の策定にあたり、「学園の『使命』 MISSION および『将来構想』 VISION」の内容を改めて確認し、その上で知識基盤社会への移行とグローバル化の進展で一体化が加速する世界の状況を踏まえ、今後 5 年間の学園の教育計画、施設計画、組織計画、人事計画、財務計画を立案した。

2. 組織・人事

A 事務組織の見直し

中期計画を具体的に実行・検証する体制の整備、さらなる事務の効率化、教員・学生支援の充実・強化を目標として、センター化から 9 年を経た事務組織について大幅な機構改革を計画した。

B 人事計画

大 学：新学部の設置や文科省グローバル人材育成推進事業の獲得等で、必要となる教育環境を整備した。

常勤教員数を増員、絶対数が不足していた若年層（20 代）職員 4 名を中間採用して大学事務部門に配置した。なお、グローバル人材育成推進事業を担当する契約職員を多数採用した。

附 属：中高部に校長のブレインとなる副校長を配置した。初等部は、平成 25 年度から校長が幼稚園園長を兼務する計画であるため、校長を補佐する非常勤教諭と若手教諭の指導強化のため特別指導主事職を配置した。

C 人件費比率と適正配分

新たな事業に関して必要な採用と適切な配置を実施したが、人件費比率の低減について継続的に取り組んだ。特に、人件費の均一的配分から成果や実績に応じた適正配分への変更について、様々な観点から検討した。

3. TOEIC 追加実施

前回未受験となっていた 50 歳超者と未受験者、および新規入校者を対象に TOEIC® IP テストを実施した。

テスト実施日：3 月 26 日 対象職員数：46 人	受験者数：43 人（受験率 93%）
-------------------------------	--------------------

4. キャンパスの整備・改修工事

2012 年度に行った主な改修工事等は以下の通りである。

内容	金額
(全学) 正門通りインターロッキング工事	19,635,000 円
(全学) ネットワーク機器（L3・Firewall、VPN）更新	4,907,700 円
(大学 1 号館) トイレ改修工事	87,570,000 円
(大学 3 号館) トイレ改修工事	47,250,000 円
(大学) 大学事務システム・学生ポータルシステム（GAKUEN、UPSHOWA）更新	33,371,100 円
(大学) 無線 LAN 敷設	20,618,430 円
(大学) 大学普通教室視聴覚機器設備	18,931,500 円
(大学) 管理栄養学科コンピュータ教室 PC 他	8,852,550 円
(附属校) 附属校無線 LAN 配線工事	2,940,000 円
(大学共通) エアコン更新工事	※省エネ対策 39,270,000 円
(大学 1 号館) 蛍光灯器具交換工事	※省エネ対策 34,335,000 円
(大学 1 号館) 太陽光発電装置工事	※省エネ対策 8,400,000 円

内容		金額
(大学共通) デマンド改修工事	※省エネ対策	5,670,000 円
(全学) 世田谷キャンパス外灯照明器具交換工事	※省エネ対策	3,013,500 円
(東明・望秀共通) エアコン更新工事	※省エネ対策	1,339,800 円
(附属校共通) 非常放送システム構築	※震災対策	9,786,000 円
(全学) 災害用トイレ	※震災対策	6,221,250 円
(中高部共通) 中高部1・2号館校舎窓ガラス飛散防止フィルム貼り工事	※震災対策	4,620,000 円
(初等部) 初等部校舎窓ガラス飛散防止フィルム貼り工事	※震災対策	3,570,000 円
(人見記念講堂) 地下プレリユード改修工事		16,586,850 円

5. 省エネルギー活動

設備の交換、運用の見直し、啓発活動により省エネルギー活動に取り組んだ。

A 設備交換 空調機・照明器具

B 運用の見直し 廊下等共用施設の照明を間引き点灯

C 啓発活動 消費電力の見える化（ウェブサイト上で公表）、節電シールで節電の協力要請

大学学友会エコロジー委員会の活動、校内放送による呼び掛け、広報ポスターの掲示
省エネパトロールの実施

以上の結果、2012年度の電気使用量は、震災前である2010年度比15%削減した。

6. 優秀者の表彰と奨学金の贈呈

創立記念式典において下記の奨学生を表彰し、奨学金を贈呈した。

人見記念奨学生（大学院・大学・短大・高等学校）人物および成績が著しく優秀な者、全学園の模範となる実績を残した者

成績優秀奨学生（大学院・大学・短大・高等学校）人物および成績が著しく優秀な者

稲穂奨励基金奨学生（大学・短大）学業以外のクラブ・サークル等の課外活動や学生個人の自主活動で芸術・スポーツなどにおいて優れた業績をあげた学生または団体

熊澤育英基金奨学生（昭和女子大学短期大学部から昭和女子大学に編入学する学生）短期大学部在学中の成績及び人物が著しく優秀で編入学試験基準を満たし入学試験に合格した者

2012年度の奨学生数は次の通りである。

種別	部門	人数
人見記念奨学生	大学院	2人
	大学	33人
	短期大学部	1人
	高等学校	6人
	合計	42人
成績優秀奨学生	大学院	6人
	大学	147人
	短期大学部	4人
	高等学校	45人
	合計	202人
稲穂奨励基金奨学生	大学	1人・1団体
	合計	1人・1団体
熊澤育英基金奨学生	大学	1人
	合計	1人

7. 各種媒体による紹介

2012 年度に本学園関係者がマスコミで紹介された主な記事数は以下の通りである。

氏名	媒体
平尾光司 理事長	テレビ 1・雑誌 2・冊子 2
坂東真理子 学長	テレビ 7・ラジオ 2・新聞 19・雑誌 27・冊子 20・WEB14
田部井淳子 理事	雑誌 1
河村幹夫 監事	新聞 1
金子朝子 副学長	雑誌 1
英米文学専攻 平井法 専攻主任	テレビ 1・新聞 4・雑誌 4
日本語日本文学科 山本晶子 准教授	新聞 1
言語教育・コミュニケーション専攻 石橋玲子 特任教授	書籍 1
歴史文化学科 阿部美香 非常勤講師	新聞 2
歴史文化学科 木下亮 教授	テレビ 1
歴史文化学科 学生	冊子 1
心理学科 河野義章 特命教授	ラジオ 2・新聞 1
福祉社会学科 北本佳子 准教授	冊子 1
現代教養学科 福沢恵子 特命教授	テレビ 1・新聞 3・冊子 1
現代教養学科 薬袋貴久 専任講師	冊子 1
現代教養学科 福田淳子 准教授	冊子 1
現代教養学科 学生	新聞 2・冊子 1
環境デザイン学科 木村信之 教授	新聞 1
環境デザイン学科 田村圭介 准教授	WEB1・新聞 1
管理栄養学科 森高初恵 教授	冊子 1
生活科学科 卒業生	雑誌 1
大学 学生	新聞 3・冊子 1
大学 全体	新聞 5
総合教育センター 小池俊夫 教授	雑誌 11・冊子 1
総合教育センター 内海佐和子 非常勤講師	新聞 1・書籍 1
国際文化研究所 平井聖 特任教授	テレビ 1・新聞 1
近代文化研究所 佐藤美恵子 主任	新聞 3・雑誌 4・冊子 2
現代ビジネス研究所 小森亜紀子 助教	書籍 1
キャリア支援センター 武藤空男 センター長	新聞 1
中高部 生徒	テレビ 1

氏名	媒体
初等部 小泉清裕 校長	雑誌 1
初等部 白敷哲久 教諭	テレビ 2
初等部 生徒	新聞 1
“輝く私” 昭和女子大学ステーション	テレビ 1・新聞 1
特定非営利活動法人 NPO 昭和	雑誌 1

1. キャンパスのグローバル化

本学のグローバル化計画が、私立女子大学で唯一、文部科学省「平成 24 年度グローバル人材育成推進事業（支援期間：5 年間）」に選定された。平成 24 年度は、以下の事業により事業基盤を整備した。

A グローバルラウンジの開設

80 年館 1 階を改修して「グローバルラウンジ（面積 138 m²）を開設した。ここで海外留学・研修情報の発信や外国人留学生との交流、各種イベントや説明会などを実施し、在学生の国際交流を推進する計画である。3 月 28 日にはオープニングセレモニーを実施した。

B 国際交流センターの拡張

国際交流センター事務所を増設し、英語学習アドバイザー・留学アドバイザーなどのカウンセリングスペースを配置した。

C 遠隔授業システムの設置

遠隔授業システムを設置して昭和ボストンとの会議で活用した。将来は、昭和ボストンや他の海外協定大学との連携・共同授業、講演会の配信など、本システムを活用したグローバルな授業運営を試行する計画である。

D 講演会の実施（学生対象）

本事業が目標とする人材育成像について下記の講演会を実施した。

実施日	内容	参加数
1 月 12 日	グローバル人材育成推進講座（於：オーロラホール） 「グローバル社会を生き抜くために：IT の効果的な活用法」	87 人
2 月 23 日	キャリア育成イベント（於：上海交通大学国際教育学院）	25 人

E 英語力向上のための取組

TOEIC レベル別セミナーなどを開催した。

実施日	内容	参加数
12 月 5 日	英文ライティングセミナー	約 50 人
1 月 7 日	TOEIC900 点を目指すセミナー	23 人
1 月 7・8 日	TOEIC700 点を目指すセミナー	115 人
1 月 8 日	TOEIC500 点を目指すセミナー	86 人

F 学生間交流

12 月 5 日にオーストラリア・クイーンズランド大学の学生との交流会を開催した。本学から 30 人、クイーンズランド大学から 20 人の参加者があった。

G グローバルシンポジウムの開催

昭和ボストン・レインボーホールにおいてグローバルシンポジウムを開催した。

テーマ	実施日	参加者
Internationalizing Higher Education :U.S. and Jpn	3 月 11 日	アメリカの大学関係者、昭和ボストン関係者 本学関係者、学生（約 100 名）

H 海外職員研修

2月18日から2月24日まで、昭和ポストンキャンパスと近郊大学（学生支援・図書館・IT活用など）の視察・研修に、職員5人を派遣した。

I 大学情報の多言語化

グローバル人材育成推進事業に関する取組を日英表記のパンフレットにまとめた。

留学生を対象とする大学紹介パンフレットを5言語（日、英、中・繁、中・簡、韓）で作成した。

大学の英語版ホームページをリニューアルした。

J 海外協定校の開拓

ワルシャワ大学（ポーランド）、ロイヤルローズ大学（カナダ）・クイーンズランド大学（オーストラリア）の3大学と、新たに協定を締結した。

2. 教育

A 就業力向上支援

1. キャリアデザイン・ポリシー

制定されたキャリアデザイン・ポリシーに基づき、カリキュラムを体系化して履修モデルを構築した。

モデルは冊子やホームページで公開して学生や受験生に提示した。この履修モデルを活用して学生を指導して就業力の向上に努めた。

2. キャリアコア科目

全学共通のキャリアコア科目を開講してカリキュラムを体系化し、全学的なキャリア教育を推進した。

3. 学習ポートフォリオ

引き続き「DREAM 手帳」を全学生に配布し、日々の学習を記録してポートフォリオとするよう促した。

学生生活に必要な情報も掲載しているため、本手帳を日常的に携帯する学生は多い。

4. 社会人メンター制度

公募や推薦により約340人の社会人メンターを登録し、学生の進路設計やキャリアプランの相談機会を充実させた。金融・商社・芸能・デザイン・NPO団体など幅広い職業と、海外生活や子育て経験など多様な経験を持つ社会人が在籍し、学生支援に積極的である。

個人面談やメンターカフェ、メンターフェアを実施した。

■2012年度活動実績

	開催回数	参加学生数
メンターカフェ	10回	131人
個別メンタリング	申込件数 201件	実施件数 195件
メンターフェア	16回	1,065人
合計参加学生数		1,391人

※メンタリングは実施件数で計算

5. キャリア教育プログラム

首都圏16大学1短大が共同申請した文科省「平成24年度産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」に採択された。

取組名：首都圏に立地する大学における産業界のニーズに対応した教育改善

共同大学：青山学院（幹事校）大妻女子・お茶の水女子・工学院・駒澤・芝浦工業・昭和女子・女子美術・専修・拓殖・東京家政・東京電機・東京都市・東京未来・法政・明治学院・目白・東京家政大短大

本学の取組は、新設する現代ビジネス研究所にラーニング・コモンズを設置し、学生のプロジェクト研究を進めながら産業界と連携して人材育成プログラムを開発するもので、今年度はラーニング・コモンズの設置などの整備を進めた。

また、法政大学をオーガナイザーする本学・女子美術・東京家政・明治学院・目白・東京家政大短大の研究チームで「産業界との連携による人材開発プログラムの開発」に取り組み、催事販売型インターシップ・プログラムを共同実施した。7大学から43名の学生(本学10名)が商店街の空き店舗等を利用して、企業の立ち上げから市場調査、仕入れ、販売などのビジネス活動を実体験させた。

■十条銀座商店街<会場>東京都北区上十条

1. 2013年3月1日(金)～4日(月) 10:00～17:00
商品：着物の生地で作成した巾着袋、シュシュ、ティッシュケース
2. 2013年3月8日(金)～11日(月) 11:00～18:00
商品：シフォンケーキ、ハートサブレ、フィナンシェ

■中井商工会<会場>東京都新宿区

1. 2013年3月1日(金)～4日(月) 11:00～17:00
商品：桜餅、カステラ
2. 2013年3月8日(金)～11日(月) 10:00～17:00
商品：「生活雑貨」(フリーマーケット)

B FD活動

1. 授業改善アンケート

■大学・短期大学部

A. アンケートの実施

授業法の改善を目的として、受講者数10名以上の全授業科目を対象にアンケート調査を実施した。(前期7月・後期2月)

B. 改善報告書の作成と公開

授業単位：全常勤教員(非常勤任意)の改善報告書を学内ウェブサイトに掲載した。(教員名を除く)

学科単位：各学科の教務部委員が報告書を作成し大学ホームページに掲載した。

また、アンケート結果から読み取れる質問項目間の相関関係について経年比較・分析を行った。

■大学院

カリキュラムから研究環境までを評価するアンケートを、専攻ごとに実施した。(前期7月・後期2月)結果を各研究科教授会で報告し、専攻ごとに改善報告書を作成して学内ウェブサイトに掲載した。

2. 授業公開

授業のピアレビューにより新たな知見を得るため、合計364科目の授業を公開した。

3.FD 講演会

総合的な教育力の向上をめざして FD 講演会を開催した。

第1回 6月13日 15:30～16:50 参加者数：約30名	テーマ：『高等教育における多人数教育の必要性和協働（同）学習の進展』 講師：NPO法人学習開発研究所代表・京都教育大学名誉教授 西之園 晴夫 氏
第2回 1月23日 15:30～17:00 参加者数：約50名	テーマ：『グローバル人材育成と大学の取組み課題』 講師：明治大学国際連携機構特任教授 芦沢 真五 氏

4.FD サロン

より円滑な授業運営のために、教員間で気軽に意見交換しながら課題への対応を考える場として FD サロンを開催した。

開催日	主なテーマ
7月11日 参加者数：約40名	自律した学習者を育てるために（5グループ）
10月10日	前期授業を行った感想及び今後の課題等 参加者：新任教員3名、FD推進委員4名

5.新任教員研修

4月1日以降採用の常勤・準常勤教員を対象に「本学の建学の精神・理念を踏まえ、本学ならではの教育の特色および制度についての理解を深める」ことを目的として新任教員研修を実施した。

開催日	主なテーマ
3月24日	①教学全体にかかわる取り組み・研究費について ②学生の進路・キャリア支援体制について ③本学の入試・学生募集等について ④学生指導・クラス運営について ⑤本学のFD活動について 参加者：新任教員3名、部長4名、FD推進委員3名

6.国内大学・昭和ボストン視察

グローバル人材育成に係わるFD活動の取組について、国内大学の視察及び昭和ボストンとの情報交換を行った。

視察日	視察者	視察先
12月15日	清水裕 教務部次長・高味み鈴 委員	創価大学（FDフォーラム）
2月16日	斉藤規子 委員・高味み鈴 委員	ボストン昭和
2月19日	中西裕 委員	国際教養大学
3月12日	清水裕 教務部次長	立命館大学
3月29日	胡秀敏 委員	大阪大学

C 自己点検・評価活動

本学では、全評価項目のうち毎年の重点項目を定めて全学的な評価を実施している。

2012年度は、「学生支援」に関する自己点検・評価を学生部、キャリア支援部、教育支援センター学生担当、キャリア支援センターを担当として実施した。また、昨年度実施した「教育研究等環境」「社会連携」に関して示された改善の方策についても検証を行った。

参考：自己点検・評価活動

第1回 自己点検・評価実施委員会 4月26日(木)	2012年度自己点検・評価実施計画〔重点項目〕の承認
第2回 自己点検・評価実施委員会 7月12日(木)	2011年度自己点検・評価結果の承認 2012年度年度重点項目到達目標の承認

3. 学生支援

A 進路・就職支援

1. 就職支援プログラム

2012年度に実施した学部・短大生向け就職支援プログラムは以下の通りである。

■就職ガイダンス関連（全24回）

[2013年3月卒業生対象]（全5回）

日時	名称
4月17日 6月20日 10月12・18日 12月20日	就職活動キャッチアップ講座

[2014年3月卒業生対象]（全19回）

日時	名称
4月18・24日 5月17・21日 6月15・27日 7月10・26日 10月5・22日 11月6・21日 12月13日 1月25日	キャリア支援センター・ツアー
5月23日 6月13日 11月30日	就職ガイダンス
10月3日	【学部対象】就職ガイダンス
10月24日	【短大対象】進路ガイダンス

■業界研究講座・セミナー（全28回）

日時	名称
10月11日	業界の見方・良い会社とは
10月19日	外資系航空業界
10月24日	マスコミ業界[新聞]
10月26日	化粧品業界
10月31日	印刷業界
11月2日	防衛省自衛官
11月7日	金融業界[生命保険]
11月8日	ブライダル業界
11月9日	金融業界[信用金庫]
11月14日	ブライダル業界
11月19日	IT業界
11月20日	流通業界[ドラッグストア]
11月21日	広告業界
11月26日	建設業界
11月28日	エレクトロニクス業界[精密機械]
12月3日	マスコミ業界[テレビ]
12月10日	業界の見方・良い会社とは

日時	名称
12月12日	就職に勝つ「情報力」を身につける
12月14日	アパレル業界
1月9日	金融業界[銀行]
1月9日	給食委託業界
1月10日	商社
1月11日	旅行業界
1月16日	金融業界[損害保険]
1月21日	食品・飲料業界
1月23日	住宅業界
1月25日	物流業界
1月28日	製菓業界

■内定者報告会・座談会（全9回）

日時	名称
11月6日	内定者報告会
11月8・13・14日 11月19・22・26日	【個別】内定者との座談会
11月16・26日	【合同】内定者との座談会

■学内合同企業説明会（全18回）

[2013年3月卒業生対象]（全10回）

日時	名称
5月10日 6月1・29日 7月23日 9月26日 10月22日 11月20日 12月13日 1月25日 2月19日	学内合同企業説明会

[2014年3月卒業生対象]（全8回）

日時	名称
12月4～7日 1月15～18日	学内合同企業説明会

■就職活動基本講座（全43回）

日時	名称
5月17・29・31日 6月7・12・26日 7月5・10・17・19日	就職活動準備講座
10月16・18日	リクルートビジュアル
10月23・25日	履歴書・エントリーシート対策Ⅰ 作成のポイント、自己分析
10月30日 11月1日 11月13・15日	履歴書・エントリーシート対策Ⅱ 書く力のトレーニング

日時	名称
11月19日 2月1日 3月13日	中小企業の探し方
11月20・22日	面接対策Ⅰ [知識編]
12月11・13日	面接対策Ⅱ [実践編①] 効果的なプレゼンテーション
12月15・22日 3月4日	面接対策Ⅲ [実践編②] グループ面接体験
12月15・22日 3月7日	グループディスカッション対策
12月18日・20日	就職活動に必要なマナー
1月22日 3月1日	履歴書・エントリーシートの書き方
2月8・13・15日 2月18～22日	採用担当者による模擬面接会

■公務員関連（全9回）

日時	名称
4月6日	【学部2・3年生、短大2年生対象】「SPI2・一般常識」模擬試験
4月26日	公務員試験セミナー
5月12日	教員採用模擬試験（幼・小・中・高）
5月15日	資格取得セミナー：旅行業務取扱管理者
6月27日	【短大1年生対象】「SPI2・一般常識」模擬試験
6月30日	保育士就職模擬試験
10月30日 12月17日	公務員セミナー
11月17日	【全学年対象】「SPI2・一般常識」模擬試験

■教員採用説明会（全14回）

日時	対象地域
4月11日 12月14日	埼玉県
4月12日	横浜市
4月16日 12月18日	東京都
4月17日 10月29日	さいたま市
4月20日 12月3日	川崎市
10月19日	茨城県
11月2日	千葉県
11月13日	相模原市
12月10日	横浜市
12月17日	神奈川県

■基礎学力向上・SPI対策（全17回）

日時	名称
6月8・13・25日 7月3・12日 10月15・23日 11月14・22日	基礎力養成講座
8月7～10日	短期集中講座
11月30日	応用力養成講座
2月19～21日	直前復習

B インターンシップ

2012年度は140の企業・団体で294人の学生がインターンシップを体験した。

主な企業・事業所名は以下の通りである。

区分	企業名	事業所数	派遣人数
公的機関・団体	農林水産省・厚生労働省・世田谷区役所・JETRO （日本貿易振興機構）・ 国会議員事務所 ほか	28	63
マスコミ・出版関係	RKB毎日放送報道局・毎日新聞・ 読売新聞・三省堂 ほか	22	30
ホテル・航空・旅行	富士屋ホテル・ホテルニューオータニ・ 京王プラザホテル・スカイビルサービス・ アサヒトラベルインターナショナル ほか	16	34
建設・住宅・ビル管理	戸田建設・鹿島建設・大成建設・清水建設・ 三菱電機ビルテクノサービス ほか	21	43
情報・電機・電子機器	トランスコスモス・日本エマソン・ イトーキ・内田洋行 ほか	7	20
金融・流通・サービス	りそな銀行・いちよし証券・レナウン・オンワード樫 山・信金中央金庫・神奈川トヨタ自動車・ニッcockト ラスト・プランタン銀座 ほか	39	80
その他		7	24
合計		140	294

C 進路状況

2012年度（2013年3月）卒業生の進路は以下の通りである。（2013年4月30日現在）

学部	学科	A 卒業者	B 大学院 進学者	C 就職 希望者	D 就職者	希望者の 就職率 (D/C)	その他 進学	その他	卒業者の 就職率(参考) D/(A+B)
人間文化	日本語日本文	142	1	125	115	92.0%	4	22	81.6%
	英語コミュニケーション	176	2	169	159	94.1%	1	14	91.4%
	歴史文化	97	9	81	74	91.4%	2	12	84.1%
	国際	70	0	62	60	96.8%	4	6	85.7%
	計	485	12	437	408	93.4%	11	54	86.3%
人間社会	心理	87	7	71	68	95.8%	5	7	85.0%
	福祉社会	84	0	80	77	96.3%	1	6	91.7%
	現代教養	91	3	85	83	97.6%	0	5	94.3%
	初等教育	103	2	98	95	96.9%	1	5	94.1%
	計	365	12	334	323	96.7%	7	23	91.5%
生活科	環境デザイン	200	14	175	157	89.7%	2	27	84.4%
	管理栄養	75	1	71	70	98.6%	1	3	94.6%
	健康デザイン	81	0	74	71	95.9%	2	8	87.7%
	計	356	15	320	298	93.1%	5	38	87.4%
大学計		1,206	39	1,091	1,029	94.3%	23	115	88.2%
学部	学科	A 卒業者	B 編入・専攻科 進学者	C 就職 希望者	D 就職者	希望者の 就職率 (D/C)	その他 進学	その他	卒業者の 就職率(参考) D/(A+B)
短期大	文化創造	96	45	26	22	84.6%	12	17	43.1%

■卒業者数と就職状況

■主な就職先

学部学科	職種	主な就職先企業
人間文化学部 日本語日本文 学科	一般事務職	清水建設、農林中央金庫、みずほフィナンシャルグループ、常陽銀行、足利銀行、大光銀行、JA共済連、ニチレイ・ロジスティクス関東
	総合職	日本赤十字社、上田信用金庫、エン・ジャパン、三井物産ファシリティーズ、東日本日立物流サービス、ドコモエンジニアリング、イオンモール
	準総合職	山陰合同銀行、エイチ・アイ・エス、いちよし証券
	営業職	北陸銀行、住友生命保険、明治安田生命保険
	販売職、サービス職	三越伊勢丹、京王百貨店、サマンサタバサジャパンリミテッド、花王カスタマーマーケティング
	公務員	埼玉県警察本部、埼玉県行田市
	中学校・高等学校教諭	学校法人東京聖徳学園 聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校、学校法人愛国学園 愛国高等学校
人間文化学部 英語コミュニ ケーション 学科	一般事務職	三菱電機、京セラ、住友電気工業、三菱東京UFJ銀行、みずほフィナンシャルグループ、三井住友銀行、東京都民銀行、筑波銀行、第四銀行、三井生命保険、積水ハウス、日揮、ルミネ、蝶理
	総合職	アスクル、イーグルリテイリング、兼松コミュニケーションズ、トップツアー、毎日企画サービス、ヤマトシステム開発
	準総合職	みずほ証券、丸全昭和運輸、ゆうちょ銀行
	営業職	かんぽ生命保険、日本生命保険、明治安田生命保険、三越伊勢丹、丹青社
	客室乗務職	シンガポール航空、日本航空、全日本空輸、ジャルエクスプレス、北海道国際航空
	販売職、サービス職	パナソニックホームエンジニアリング、JTBワールドパッケージング、JTB首都圏、東武トラベル、目黒雅叙園、三越伊勢丹、コーチ・ジャパン、ファーストリテイリング
	公務員	千葉県警察本部

	中学校・高等学校教諭	岩手県、学校法人湘南学院 湘南学院高等学校、学校法人誠美学園 大妻中野中学校・高等学校
学部学科	職種	主な就職先企業
人間文化学部 歴史文化学科	一般事務職	三菱東京UFJ銀行、みずほフィナンシャルグループ、住友化学、筑波銀行、国立成育医療研究センター、大学監査協会、学校法人佐藤栄学園、明治安田ライフプランセンター
	総合職	三菱自動車工業、松井建設、三国コカ・コーラボトリング、JR東日本リテールネット、クロスプラス、コナカ
	営業職	近畿日本ツーリスト
	販売職、サービス職	三越伊勢丹、東日本旅客鉄道、ソフトバンクグループ、パナソニックホームエンジニアリング、ワコール、サマンサタバサジャパンリミテッド、共立メンテナンス
人間文化学部 国際学科	一般事務職	三菱電機、住友化学、清水建設、常陽銀行、沖縄銀行、三井不動産、JK ホールディングス
	総合職	みずほ証券、足利小山信用金庫、ダイキンファンリティーズ、ラオックス、丸善薬品産業
	準総合職	日本興亜損害保険、近畿日本ツーリスト、大和証券、岡三証券
	営業職	住友生命保険
	客室乗務員	日本航空、全日本空輸
	販売職、サービス職	三越伊勢丹、京王百貨店、パナソニックホームエンジニアリング、虎屋
人間社会学部 心理学科	一般事務職	みずほフィナンシャルグループ、城北信用金庫、さわやか信用金庫、東ソー、JX日鉱日石金属、ニチレイ・ロジスティクス関東、住友不動産販売、積和不動産、国立成育医療研究センター
	総合職	清水銀行、東京シティ信用金庫、足立成和信用金庫、セブン&アイ・フードシステムズ、トップカルチャー
	準総合職	ゆうちょ銀行、オリエントコーポレーション、エイチ・アイ・エス
	営業職	日本生命保険、協和日成、ホギメディカル
	販売職、サービス職	三越伊勢丹
	福祉職	ベネッセスタイルケア、ニチイケアパレス
	公務員	埼玉県
人間社会学部 福祉環境学科	福祉職	神奈川県横浜市、品川総合福祉センター、東京都知的障害者育成会、ベネッセスタイルケア
	保育士	東京都渋谷区、東京都北区、埼玉県鴻巣市、千葉県千葉市、千葉県船橋市、栃木県栃木市、日本保育サービス、至誠学舎立川
	医療ソーシャルワーカー	聖マリアンナ医科大学、医療法人財団青山会 福井記念病院
	一般事務職	三菱東京UFJ銀行、さわやか信用金庫、ソフトバンクグループ、明治安田システム・テクノロジー
	総合職、準総合職	ゆうちょ銀行、都留信用組合、ニチイ学館、日本ケアサブライ
	営業職	日本生命保険
	販売職、サービス職	三越伊勢丹、JTB首都圏、小田急リゾーツ、ジェイアイエヌ
	中学校・高等学校教諭	茨城県常陸大宮市、学校法人潤徳女子学園 潤徳女子高等学校
人間社会学部 現代教養学科	一般事務職	明治、住友化学、信越化学工業、三菱東京UFJ銀行、常陽銀行、八十二銀行、埼玉中央農業協同組合、ジャックス、清水建設、長谷工コーポレーション、積水ハウス、三井住友トラスト不動産、ニチレイ・ロジスティクス関東、共同通信社
	総合職	横浜ゴム、東急コミュニティー、住友林業ホームサービス、埼玉縣信用金庫、イオンクレジットサービス、近鉄ロジスティクス・システムズ、QVCジャパン
	準総合職	千葉銀行、三井ダイレクト損害、岡三証券
	営業職	住友生命保険、第一生命保険
	客室乗務員	全日本空輸
	販売職、サービス職	三越伊勢丹、パナソニックホームエンジニアリング、サマンサタバサジャパンリミテッド、レナウン
人間社会学部 初等教育学科	小学校教員	東京都、千葉県、茨城県、長野県、静岡県、横浜市、川崎市、さいたま市、千葉市
	幼稚園教員	アゼイリア幼稚園、健伸幼稚園、若葉ナースリスクール幼稚園
	保育士	世田谷区、中央区、北区、練馬区、町田市、府中市、藤沢市、さいたま市、上尾市、草加市、習志野市、つくば市、世田谷区社会福祉事業団

	一般職	みずほフィナンシャルグループ、りそなホールディングス
学部学科	職種	主な就職先企業
生活科学部 環境デザイン 学科	設計・製図職	埼玉県、大成建設、清水建設、大林組、五洋建設、三井ホーム、パナソニックエイジフリーショップス
	総合職	ミサワホーム東京、積水ハウスリフォーム、住友不動産リフォーム、高崎市農業協同組合、クロスプラス、ファミリーマート、富士ゼロックス東京、富士ゼロックス静岡、京浜急行バス
	準総合職	三井住友海上火災保険
	営業職	北陸銀行、ミサワホーム静岡、オークラヤ住宅、GMOペイメントゲートウェイ
	一般事務職	三菱東京UFJ銀行、信金中央金庫、日本生命保険、明治安田生命保険、日立キャピタル、旭化成ホームズ、JKホールディングス、遠藤照明、デサント、加藤製作所
	販売職、サービス職	三越伊勢丹、パナソニックホームエンジニアリング、クリナップ、ホテル日航福岡、オンワード樺山、レナウン、ワコール、ユナイテッドアローズ、JALスカイ
生活科学部 管理栄養学科	栄養士、管理栄養士	秋田県、東京都、日清医療食品、グリーンハウス、メフォス、西洋フード・コンパスグループ、富士産業、日本保育サービス
	総合職	静岡瓦斯、イカリソース、CFSコーポレーション、クリエイトエス・ディー
	研究開発、品質管理職	ヤマザキ・ナビスコ、フジッコ、サンデリカ
	営業職	明治
	一般事務職	ブリヂストン、帝人、はごろもフーズ、三菱食品、コープ食品、日本郵便、学校法人華学園
生活科学部 健康デザイン 学科	栄養士	東京都、日清医療食品、エームサービス、LEOC、日本保育サービス、カワチ薬品
	総合職	井村屋グループ、アヲハタ、ミ三国コカ・コーラボトリング、千葉県信用保証協会、常総ひかり農業協同組合、ミサワホーム東関東
	営業職	明治安田生命保険
	一般事務職	かんぼ生命保険、全国開拓農業協同組合連合会、東海澱粉
	販売職・サービス職	資生堂販売、クリナップ、タリーズコーヒージャパン、イオンペーカリー
	客室乗務員	日本航空
	中学校・高等学校教諭	神奈川県、学校法人沼津学園 飛龍高等学校
公務員	茨城県結城市	
短期大学部 文化創造学科	一般事務職	富士通、ワコール、住友電設、三菱電機ビルテクノサービス、菱サ・ビルウェア
	販売職、サービス職	三越伊勢丹、京王百貨店、オンワード樺山、ワールドエンタプライズ、スタジオアリス

■主な進学先

学部名	進学先大学院等
人間文化学部	昭和女子大学大学院、法政大学大学院、帝京大学大学院、聖徳大学教職大学院、University of Leicester
人間社会学部	昭和女子大学大学院、上越教育大学大学院、早稲田大学大学院、慶応義塾大学大学院、法政大学大学院、東亜大学大学院、東洋英和女学院大学大学院
生活科学部	昭和女子大学大学院、千葉大学大学院、宮城大学大学院、慶應義塾大学大学院
短期大学部（編入学）	昭和女子大学、北九州市立大学、上智大学、中央大学、日本大学、専修大学、東京経済大学、東京家政学院大学、東京成徳大学、玉川大学、共立女子大学、清泉女子大学、聖心女子大学、恵泉女学園大学、実践女子大学、跡見学園女子大学

■産業別就職状況

学部	人間文化学部					人間社会学部					生活科学部				合計
	日本語 日本語	英語 コミュニ ケーション	歴史文化	国際	計	心理	福祉社会	現代教養	初等教育	計	環境 デザイン	管理栄養	健康 デザイン	計	
就職者数	115	159	74	60	408	68	77	83	95	323	157	70	71	298	1029
農林水産業・鉱業 建設業	5.2%	6.9%	8.1%	5.0%	6.4%	4.4%	0.0%	8.4%	0.0%	3.1%	19.1%	1.4%	1.4%	10.7%	6.6%
不動産業	1.7%	3.1%	1.4%	1.7%	2.2%	4.4%	1.3%	7.2%	0.0%	3.1%	5.1%	0.0%	0.0%	2.7%	2.6%
製造業	1.7%	6.3%	6.8%	10.0%	5.6%	4.4%	0.0%	14.5%	1.1%	5.0%	12.7%	15.7%	8.5%	12.4%	7.4%
出版・印刷業	0.0%	0.0%	1.4%	1.7%	0.5%	1.5%	0.0%	2.4%	0.0%	0.9%	0.6%	0.0%	0.0%	0.3%	0.6%
卸売・小売業	26.1%	15.7%	27.0%	33.3%	23.3%	19.1%	10.4%	25.3%	4.2%	14.2%	27.4%	44.3%	43.7%	35.2%	23.9%
金融業	11.3%	13.2%	12.2%	15.0%	12.7%	17.6%	7.8%	16.9%	3.2%	10.8%	5.1%	0.0%	5.6%	4.0%	9.6%
運輸業	4.3%	9.4%	2.7%	5.0%	6.1%	4.4%	1.3%	4.8%	0.0%	2.5%	1.9%	0.0%	1.4%	1.3%	3.6%
電機・ガス	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.3%	0.1%
教育・学校支援	5.2%	5.7%	4.1%	0.0%	4.4%	0.0%	6.5%	2.4%	51.6%	17.3%	3.8%	5.7%	12.7%	6.4%	9.0%
医療・福祉	13.0%	1.3%	5.4%	5.0%	5.9%	8.8%	62.3%	0.0%	36.8%	27.6%	3.2%	17.1%	15.5%	9.4%	13.7%
調査研究・専門技術 サービス	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	1.5%	0.0%	2.4%	0.0%	0.9%	3.8%	0.0%	0.0%	2.0%	1.0%
放送・広告	2.6%	0.6%	1.4%	1.7%	1.5%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.3%	0.6%	0.0%	0.0%	0.3%	0.8%
情報通信業	4.3%	10.1%	4.1%	5.0%	6.6%	5.9%	2.6%	7.2%	1.1%	4.0%	4.5%	2.9%	0.0%	3.0%	4.8%
サービス業	21.7%	27.0%	24.3%	15.0%	23.3%	26.5%	5.2%	7.2%	1.1%	9.0%	10.2%	7.1%	8.5%	9.1%	14.7%
公務	1.7%	0.6%	1.4%	0.0%	1.0%	1.5%	2.6%	0.0%	1.1%	1.2%	0.6%	4.3%	2.8%	2.0%	1.4%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.7%	0.3%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

D 基礎学力の向上

1. 基礎学力の向上と初年次教育

基礎教育研究センターを充実させ、基礎学力向上の学習機会を提供した。

E 心身の健康増進

健康デザイン学科、管理栄養学科を中心に全学的な取り組みとして「輝け☆健康『美』プロジェクト」を立ち上げ、健康増進を図った。

A. 学生食堂のメニュー開発

B. エクササイズ配信

C. ローソンと共同開発による弁当や総菜をコンビニで販売

4. 東日本大震災被災者支援

A 学生のボランティア活動

2011年度からコミュニティサービスラーニングセンターで継続支援する宮城県石巻市と女川町で『東日本大震災被災地を応援する学生ワークキャンプ』を実施した。

また、学生ボランティアコーディネーターを中心に秋桜祭の売上の一部（1万円の図書カード）を女川町「つながる図書館」に寄贈した。

学生ワークキャンプの実施概要は次の通りである。

開催日：8月23日～8月26日（3泊4日）

参加学生数：21名

活動内容：仮設住宅でのお茶会実施・炊き出し・復興支援イベントの手伝い・草むしり

B 学納金等の返還

被災指定地域の受験生に対して、検定料・入学金・入寮費・学納金・寮費返還の特別措置をとった。

対象受験生数：24人	返還総金額：8,882,000円
------------	------------------

5. 地域貢献・連携活動

A 子育て支援フェスタ

世田谷区後援・NPO 昭和等との共催で、子育て支援フェスティバル「三茶子育てファミリーフェスタ in 昭和女子大学」を本学キャンパスで開催した。

イベント名	三茶子育てファミリーフェスタ in 昭和女子大学
内容	学生と地域との協働による子ども子育て支援情報の提供
開催日時	2012年6月23日 13:00～16:00
主催者等	主催：昭和女子大学／共催：特定非営利活動法人 NPO 昭和 後援：世田谷区／協力：太子堂1丁目町内会
参加団体数	子育て支援団体：31団体／協賛企業：15社 ボランティア学生数：402人
来場者数	約1,200人

B エフエム放送による地域情報の提供

学生が企画・制作・放送する地域情報番組をエフエム世田谷の協力を得て運営した。

番組名	内容
キャンパス RADIO カンパニー 昭和女子大知れた girl!	子育てに関する情報や「ポロ市」等イベントの紹介、「世田谷芸術散歩」制作

C 社会人対象講座

社会人女性を対象とする再就職・起業支援講座を開講した。文科省委託事業「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」の実績を生かし、本学独自の取組として発展させたものである。

実施期間	9月25日～12月18日（約15週間）	
受講者数 / 修了者	再就職コース	12人 / 11人
	プチ起業コース	22人 / 18人

D 企業等連携

“輝く私”昭和女子大学ステーションとの協働講座を企画・実施し、企業や団体等と連携する課題解決型コミュニティサービスラーニングを推進した。

6. 科学研究費助成事業採択状況

2012年度に科学研究費助成事業に採択された研究は以下の通りである。(新規14・継続26 合計40件)

種別	研究内容	氏名
1 [新規] 基盤研究 (B) (一般)	近世日越交流史の再構築	菊池誠一 教授
2 [新規] 基盤研究 (B) (一般)	日本人英語学習者の話し言葉・書き言葉の コーパス整備と教材開発	池上嘉彦 特任教授
3 [継続] 基盤研究 (B) (一般)	学校・家庭・地域連携型道徳教育推進プログラムの開発に関する 総合的研究	押谷由夫 教授
4 [継続] 基盤研究 (B) (一般)	健康危機管理のための突発的生起事象を検出する統計モデル	丹後俊郎 客員教授
5 [継続] 基盤研究 (B) (海外)	南海の古代国家「林邑」に関する考古学的研究	山形真理子 客員研究員
6 [新規] 基盤研究 (C) (一般)	日本の農山漁村における持続可能な生活経営と 女性農業者の情報アクセスに関する研究	粕谷美砂子 准教授
7 [新規] 基盤研究 (C) (一般)	都市街区における路地空間の利用と空間的効果に関する研究	金子友美 准教授
8 [新規] 基盤研究 (C) (一般)	地方における狂言の伝承についての研究 —馬瀬狂言資料を中心に—	山本晶子 准教授
9 [新規] 基盤研究 (C) (一般)	古・中英語期の女性像の受容と変容 —Aelfric のテキストと言語の基礎的研究	島崎里子 准教授
10 [新規] 基盤研究 (C) (一般)	二〇世紀前半に現在の中国領内で刊行された モンゴル語定期刊行物の研究	呼和巴特爾 教授
11 [新規] 基盤研究 (C) (一般)	知的障害者の離職プロセスを手掛かりとした就労モデルの 構築	根本治代 専任講師
12 [新規] 基盤研究 (C) (一般)	心的距離による利用可能知識の接近可能性変化と その調整変数に関する実験研究	藤島喜嗣 准教授
13 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	紅麴の機能性評価と食品への有効活用	高橋真美 助教
14 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	下地調整技法からみた文化財学的漆工品の研究 —中世の舶載及び国産漆器を中心に—	武田昭子 教授
15 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	繊維遺物鑑別のための画像解析データベースの構築	伊藤美香 助教
16 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	様態性の尺度に視点を置く英語副詞配列の分析と その言語習得論的検証	鈴木博雄 教授
17 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	関東・中部地方における縄文時代中期大規模環状集落崩壊過程を めぐる研究	山本暉久 教授
18 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	体制転換からEU統合へ至る移行期の東欧における メディア環境の変容	清水 真 准教授
19 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	日本のソーシャルワークにおけるコンサルテーションモデルの 構築	北本佳子 准教授
20 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	保護者にとっての子どもの入園の意味 —「親としての発達」の視点から	藤崎春代 教授
21 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	最新メディア教育を活用した幼小連携スタートプログラムの開発 研究	駒谷真美 准教授
22 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	昭和時代の食物に関する記述データの保存と食文化史的解析 —新聞・雑誌・書籍—	大橋きょう子 教授

種別	研究内容	氏名
23 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	随意的な反応抑制が直後の反応遂行に与える影響	山中健太郎 准教授
24 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	EBNに基づくロコモティブシンドローム改善の ライフスタイル行動変容教育効果の評価	大木和子 教授
25 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	衣服の動作適応の筋電図評価 —ユニバーサルデザインの視点から—	石垣理子 准教授
26 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	嚥下流動分布の解析と誤嚥防止のための食品の力学特性の解明	森高初恵 教授
27 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	トルコ諸都市におけるセンター領域の空間形態と 特性に関する研究	鶴田佳子 准教授
28 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	人形浄瑠璃の操り方の変遷に関する研究 —江戸系鉄砲ざしの検証と再現—	大谷津早苗 教授
29 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	英語話者の物語コーパス作成とレキシカルフレーズ中心の リスニング教材の提供	金子朝子 教授
30 [継続] 基盤研究 (C) (一般)	ベトナム・ホイアンの伝統的町並みに対する観光地化の影響	内海佐和子 客員研究員
31 [継続] 挑戦的萌芽研究	カンボジアの貧困農家への農業生産改善支援策と 健康改善支援策の統合による効果の評価	米倉雪子 准教授
32 [継続] 挑戦的萌芽研究	自閉性障害の超早期発見法の開発	中村徳子 専任講師
33 [新規] 若手研究 (B)	女性聴覚障害者の職業選択と就労に関する研究	吉田仁美 助教
34 [新規] 若手研究 (B)	近世武家住宅における唐紙の用例に関する研究	小粥祐子 助教
35 [継続] 若手研究 (B)	中世東国宗教と文芸伝承の総合的研究 —唱導、縁起、物語を視座として	阿部美香 非常勤講師
36 [継続] 若手研究 (B)	まちづくりにおける持続可能なイベントについての研究	内田敦子 助教
37 [継続] 若手研究 (B)	認知言語学の〈事態把握〉の実証研究と第二言語習得への影響	ソミンジョン 非常勤講師
38 [新規] 学術図書	研究用日本人表情刺激の作成とその臨床的適用	木村あやの 助教
39 [新規] 学術図書	謝罪と罪悪感の認知発達心理学	田村綾菜 助教
40 [新規] 学術図書	障害のある子どものインクルージョンと保育システム	石井正子 准教授

*職名は平成24年度時点

7. 委託研究・研究助成等

2012年度に企業等から委託・助成を受けた研究は以下の通りである。(16件)

種別	企業等	氏名
1	委託研究 世田谷区世田谷保健所	石井幸江 准教授
2	委託研究 特定非営利活動法人アルコイリス	福島正子 教授
3	委託研究 エーザイフード・ケミカル株式会社	渡辺睦行 専任講師
4	委託研究 タマ生化学株式会社	渡辺睦行 専任講師
5	共同研究 三栄源エフ・エフ・アイ株式会社	飯野久和 教授
6	共同研究 株式会社明治	飯野久和 教授
7	共同研究 森永乳業株式会社	志賀清悟 教授
8	共同研究 日本放送協会	平井聖 特任教授
9	共同研究 株式会社伊藤園	森高初恵 教授
10	研究助成 公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団	池田尚子 専任講師
11	研究助成 公益財団法人トヨタ財団	フフバートル 教授
12	研究助成 社団法人日本ツーバイフォー建築協会	山口温 専任講師
13	研究助成 株式会社山田養蜂場	渡辺睦行 専任講師
14	奨学寄附金 三栄源エフ・エフ・アイ株式会社	飯野久和 教授
15	その他 国土交通省、三井ホーム株式会社	木村信之 教授
16	その他 独立行政法人国際協力機構	国際文化研究所

*職名は平成24年度時点

8. 図書館

2012年度の蔵書数と図書貸出数は以下の通りである。

A 蔵書数

種別	冊数等	内訳
図書	496,475 冊	和書 425,912 冊 (うち近代文庫 68,094) 洋書 70,563 冊 (うち近代文庫 60)
雑誌	14,946 タイトル	和雑誌 13,860 タイトル (うち近代文庫 4,332) 洋雑誌 1,086 タイトル (うち近代文庫 3)
新聞	136 タイトル	和新聞 29 タイトル 洋新聞 9 タイトル 近代文庫 98 タイトル
視聴覚資料	21,288 タイトル	
電子ジャーナル	18,492 タイトル (アクセスできるタイトル数)	

B 利用状況

開館日	255 日
入館者数	169,750 人 (1 日平均入館者数 665.6 人)
貸出冊数	合計 47,236 冊 大学院生 3,982 冊 在学年次生 31,490 冊 卒業年次生 11,764 冊 (学生 1 人あたり貸出数 8.7 冊)

9. 海外研修プログラム

A 昭和ボストン研修プログラム (4 プログラム)

[対象] 人間文化学部英語コミュニケーション学科・国際学科・短期大学部文化創造学科

プログラム名	研修期間	参加人数
英語コミュニケーション学科 (必修・約 5 か月間) プログラム名=University	9 月 18 日→2013 年 2 月 14 日	98 人
英語コミュニケーション学科 (希望制・約 10 か月間) プログラム名=Four Seasons Program	4 月 4 日→2013 年 2 月 14 日	55 人
英語コミュニケーション学科 (選抜制・約 17 か月間) プログラム名=Boston Long-term Intensive Program	9 月 18 日→2014 年 2 月中旬	21 人
国際学科 (選択希望制・約 4 か月間) プログラム名=DIS Boston Immersion Program	4 月 4 日→7 月 28 日	51 人
文化創造学科 (希望制・約 4 か月間) プログラム名=Junior College Program	9 月 4 日→12 月 19 日	11 人
	合計	236 人

[対象] 全学科 (8 テーマ)

プログラム名	研修テーマ	参加人数
ボストン・サマーセッション 研修期間：8 月 20 日→9 月 18 日	アメリカ文化	7 人
	ボランティア	6 人
	アメリカ食文化	7 人
	ミュージアム	14 人
	教育 (アメリカ教育コース)	6 人
	心理学	9 人
	ビジネス英語	11 人
	合計	60 人

[対象] 英語コミュニケーション学科以外の学部学科

プログラム名	研修期間	参加人数
春期 15 週間ボストンプログラム	4 月 4 日→7 月 28 日	4 人

[対象] 日本語教育・栄養士・教職関係 (3 テーマ)

プログラム名	研修期間	参加人数
日本語教育実習	2 月 18 日→3 月 5 日	5 人
日本文化	2 月 18 日→3 月 5 日	7 人
アメリカ栄養士研修	2 月 19 日→3 月 6 日	56 人
春季アメリカ教育研修	3 月 8 日→3 月 25 日	24 人
合計		92 人

B 海外宿泊研修

	プログラム名	期間	参加人数	担当学科・専攻
1	春季ヨーロッパ研修	2 月 18 日→3 月 2 日	38 人	国際交流センター
2	イタリア食文化研修	なし	なし	国際交流センター
3	西江大学 (韓国) 交流プログラム	3 月 18 日→3 月 27 日	3 人	大学院言語教育・コミュニケーション専攻
4	日本語教育実習 (韓国)	9 月 2 日→9 月 15 日	2 人	日本語日本文学科
5	海外デザイン演習・プロダクト服飾	9 月 13 日→9 月 23 日	23 人	環境デザイン学科
6	日本語教育実習 (ベトナム)	9 月 12 日→9 月 27 日	4 人	日本語日本文学科
7	ベトナム考古学調査	8 月 16 日→8 月 29 日	11 人	歴史文化学科
		8 月 16 日→9 月 9 日	1 人	大学院生活文化研究専攻
8	海外デザイン演習・建築	9 月 4 日→9 月 17 日	33 人	環境デザイン学科
9	北欧研修旅行	9 月 6 日→9 月 12 日	15 人	福祉社会学科
10	UCC 交換留学ショートステイ	なし	なし	福祉社会学科
11	アジア教育研修 (タイ・カンボジア)	なし	なし	初等教育学科
12	ソウル女子大学語学集中講座	8 月 2 日→8 月 23 日	16 人	国際交流センター
13	国際社会調査研修	9 月 12 日→9 月 24 日	13 人	現代教養学科
14	中国語研修 (上海交通大学)	2 月 16 日→3 月 10 日	4 人	国際交流センター
15	ジェネラルイングリッシュ (クイーンズランド大学)	2 月 16 日→3 月 23 日	16 人	国際交流センター
16	海外インターンシップ (ロイヤルローズ大学)	2 月 17 日→3 月 12 日	5 人	国際交流センター

C 海外協定校との交換留学制度

協定校	派遣人数(うち必修認定留学:国際学科)	受入人数
上海交通大学	23 人 (18 人)	—
ソウル女子大学	11 人 (9 人)	4 人
UCC 大学	2 人	なし

1. 将来計画委員会

「昭和スタイル」で培うグローバルな総合力を中期的目標とし、教育の質を高めることを目指した。2011年度に引き続き、現状と課題を3分野に整理してワーキンググループを設置。具体的解決策と実行案を作成した。

■ワーキンググループと活動内容

ワーキンググループ	活動内容
全人教育強化グループ	夏季寮から春季寮への移行を決定 夏季寮の「体と心を鍛えるプログラム」に「平和学習と英語力強化のプログラム」を組み込んだ新しいプログラムを作成し、平成25年度の4年生から実施する。
学習・進路強化グループ	1 自習室を東館（大学5号館1階）に開設。6年生を中心に生徒の自学自習の習慣を定着させた。後期は5年生も使用可とした。 2 6年生による朋友学習会を開き、下級生に勉強を教える機会や進路相談の場を提供した。 3 卒業生による講演会を数多く開催した。 4 次年度にむけてICT化を図るため、電子黒板全クラス導入の環境整備を企画した。
グローバル化推進グループ	1 ユネスコスクールへの加盟 ユネスコスクールに加盟申請を行い、ユネスコ本部から承認され、校内委員会を組織した。 2 ブリティッシュ・スクールと交流 The British School in Tokyo と共催で本場のシェークスピア劇の公演を企画し、両校の生徒・家族・教職員で鑑賞した。 また交流会を度々行った。 3 選択制国内外研修旅行（2014年度4年生から）の実施を決定 2014年度導入に向けて、ベトナム、マレーシア、オーストラリアの実地踏査を行い、行程案を企画した。

2. 研究授業

全教員が研究授業にを行うとともに、他の教員の研究授業を5回以上参観し、お互いに授業力を高める機会にすることができた。

3. 学習・進路指導の充実

A 進学指導冊子「テレスコープ」の改訂

生徒が自ら将来を考え主体的に学習するよう、進学指導冊子「テレスコープ」を配付して学習指導や進路指導に活用している。2012年度は「高校生版」に特化した冊子を作成した。

4. 海外研修プログラム

A ボストン研修

2012年度 The Boston Mission

グループ名	研修期間	参加生徒数	引率教員数
第1班	2013年 3月 6日→17日	2年生 109人	7人
第2班第1グループ	2013年 3月 17日→28日	2年生 70人	8人
第2班第2グループ	2013年 3月 18日→29日	2年生 72人	

B 英国短期留学

英国短期留学（希望者）の参加人数は以下の通りである。

研修先	研修期間	参加生徒数	引率教員数
イギリス・フランス	3月 8日→3月 30日	65人	3人

5. 保護者との連携

保護者会を除く SPC (Showa Parents Club) 活動 (7回)

実施日	内容	対象	参加数
5月9日	学寮見学	1年生	63名
5月18日	授業参観	全校	397家族
5月30日	コーラス	全校	19名
6月14日	クラブ見学会	全校	228名
10月10日	学寮見学	2年生	23組
10月31日	授業参観	全校	255名
12月12日	パン作り	全校	5名

6. 進学状況

A 2012年度卒業生の進路は、以下の通りである。

内容		人数
大学	学内進学者	73人
	学内進学者（五修生）	18人
	学外進学者	111人
短大	学外進学者	4人
専門学校進学者		5人
浪人等		7人
合計		218人

B 他大学合格実績は以下の通りである。

国公立	早慶上理	医科大	GMARCH	その他大学
6人	15人	1人	37人	212人

合格者数は延べ人数

1. 震災後の対応

- A 地震などの災害対応の充実を前年度に引き続き図った。
- B ガス式発電機、炊き出し用鍋、釜などを購入し、餅つきに合わせて実際に炊き出しを行い、教職員が器具などの取り扱いに慣れるようにした。
- C 教職員メール一斉配信システムを構築し、試験運用を行った。

2. 教育の資質向上

- A 研究会・研修会への参加を教師に奨励し、FD活動を推進した。
 - 1 初等部内での授業研究会…5回
 - 2 初任者研修会…10回
 - 3 全体研修会…6回
 - 4 日本私立小学校連合会夏季研修への参加
 - 5 東京私立初等学校協会の研修会への参加
 - 6 各種学外研修会への多数の教員の参加
- B 5月1日に「第3回学校の創立を祝う会」を実施。全児童が同窓会員である師岡文男・上智大学教授の講話を聴く機会を設けた。
- C 各種大会等への参加
 - 1 第28回東京都私立小学校児童作品展「ほらできたよ」への出品
 - 2 第2回世田谷子ども駅伝大会への参加
 - 3 第2回東京私立小学校ダンス発表会への参加
 - 4 第26回東初協音楽祭「さあ、はじめよう」への参加
- D 初等部主催文化行事の開催
 - 1 映画『くまのプーさん』
 - 2 和太鼓ライブ「水の星から」
 - 3 青島広志とおきの音楽会「パールギュントの大冒険」
- E 教育実習の実施
 - 教育実習：昭和女子大学初等教育科 学生4名
 - 給食実習：昭和女子大学生活科学科 学生4名
- F 海外小学校との交流の実施
 - ホイアンのルオンティービン小学校との交流事業を開始

3. 設備および備品の充実

- A システムの高機能化
 - 1 全校に無線ランを設置した。
 - 2 視聴覚室に全校向きテレビ放送システムの機器・設備を更新、設置した。
 - 3 移動用コンピュータ端末を購入し、教育活動への導入の可能性を試行した。

4. 学校行事の改革

- A 北海道修学旅行の実施
 - 7月20日～24日 ニセコ3泊（登山、ラフティング、スケッチなど）、函館1泊（グループ別自由散策など）
- B 海の学校の実施
 - 9月18日～21日 望秀海浜学寮（浜辺の運動会など）
- C 低学年、学校宿泊の実施
 - 2年生：10月5～6日、3年生：6月8日～9日 何れも防災訓練と宿泊訓練を兼ねる。

- D 音楽会の実施
- E 「昭和っ子の研究（総合学習）報告会」の変更
グリーンホールで学年ごとに2日間に分けて実施した。

5. 他部署・施設と連携したプログラム

- A 大井町役場と連携し、東明学林の施設を利用しながら4・5年生全児童が田園学寮中に田植えを行い、秋に希望する保護者と児童が稲刈りを行った。
- B 大学初等教育学科学生が初等部の授業を見学する「エントリーシート」システムを実施した。
- C 初等部の教員が大学初等教育学科で特別講義を行った。
- D ブリティッシュ・スクールの児童・生徒との共同学習や授業相互見学、相互の自宅を訪問して週末を過ごすホームステイを実施した。
- E ブリティッシュ・スクールの児童・生徒と初等部の希望児童がクリケットを通じた交流を行った。
- F 英語教育に関して、大学院言語コミュニケーション専攻の院生が授業見学や本校主催の研究会に参加した。
- G 幼稚部、中高部と共に教職員研修を実施し、互いの部署の教育活動の理解を教員が相互に行った。
- K 昭和ナースリーの年長児の見学を受け入れ、その後、ナースリーの越川園長先生をお招きして保育園教育について教員に対して講演をしていただいた。

6. 海外研修

7月28日～8月7日に「第11回ボストン昭和フレンドシップツアー」を実施した。

7. 「子育てフォーラム」の実施

募集活動を兼ねた公開フォーラム「第4回 子育てフォーラム」を1月27日（日）に本学理事・田部井淳子氏を招いて実施した。

1. 幼小連携

- A 初等部教員朝礼に幼稚部教師1名が参加し、双方向同時連絡可能な場を実現している。
- B 幼小合同「昭和っ子の運動会」で、年長児と5年生のペア競技をプログラムに組んで練習し、運動会で実施した。
- C 年長組親子を中心に初等部の文化行事、『太鼓ライブ 水の星から』に参加した。
- D 図工・理科・英語の専科指導を初等部に依頼し、年長組を中心に実施した。
- F 3月の附属校合同研修会で開催当番を務め、「IPS細胞を使った再生医療について」岡野栄之（卒園生）先生の講演会を実施した。

2. 宿泊保育の実施場所を変更

東日本大震災後、園児の安全を考慮して、24年度も宿泊保育を園舎で実施した。

3. 「東日本大震災」募金

園児保護者による募金70,000円を世田谷区私立幼稚園協会を通じて被災地の幼稚園協会へ送金した。

4. FD活動の推進

以下の教職員研修会に参加した。また、各種団体開催の夏期教員研修会には個別に参加した（計20研修会）。

主催者	内容
(社) 東京都私立幼稚園教育研修会・ 東京都私学財団	6月25日：公開保育(東京いずみ幼稚園) 7月26・27日：教育研究大会(全日私幼連東京地区教研大会共催) 8月16・17日：教員の民間企業研修プログラム(住友金属工業鹿島製鉄所) 計8研修
世田谷区私立幼稚園協会	7月5日：「地震災害の実態と対応のポイント」 2月20日：講演「保護者とともに子どもを育てる保育のために」世田谷区私立幼稚園協会研究発表大会 計4研修
お茶ノ水女子大学附属幼稚園	2月8日：お茶ノ水女子大学附属幼稚園公開保育

5. 第2回「園長を囲む会」を実施

2月23日に、年中児保護者と園長・副園長を囲む自由討論形式の懇談会を開催した。約2時間に渡り、8割の保護者の出席があり、率直な意見交換の場となった。

6. 預かり保育(依頼連携型)開始

降園後(通常保育14時、午前保育12時半)から18時まで「昭和ナースリー」に連携を依頼し預かり保育をスタートした。24年度は年長児3名が利用。

幼稚園の代休日、長期休暇中も実施。

次年度から幼稚園独自の預かりを開始するための検討会を開催した。

預かり担当教員の採用を行った。

7. 将来計画

「総合子ども園検討委員会」を開催し、新園舎構想に関わる建築グループとの情報交換を行った。

8. 私立幼稚園情報交換会

東急・小田急沿線の附属幼稚園15園が集まり、募集活動についての情報交換会を行った。

情報交換会独自の「私立幼稚園合同相談会」を開催した。(1月27日)

9. 幼児教育ボランティア

初等教育学科学生を中心に希望者、1日5名まで、教員補助ボランティアを募集した。(傷害保険に加入)

1. 講座開設状況

2012年度の開設講座数と延べ受講者数は以下の通りである。

開設講座数	528 講座
延べ受講者数	3,901 人

2. 大学との連携

2012年度の特別奨学金（キャリアアップ奨励金）対象講座と受講大学生数は次の通りである。

講座名	受講者数
秘書技能検定2級対策講座	39 人
公務員試験対策講座	30 人
合計	69 人

2012年度に大学の授業として実施した講演・コンサートは以下の通りである。

A 文化研究講座（全 18 講座）

日付	公演者
4月26日	新日本フィルハーモニー交響楽団演奏会
5月10日	JAZZ&CLASSIC “2012”
5月15日	KODO（鼓童）
5月21日	ウィーン少年合唱団
5月24日	劇団・四季 ミュージカル「赤毛のアン」
6月4日	N響トップメンバーによる室内合奏団
6月14日	航空自衛隊航空中央音楽隊
6月27日	ロシア・ナショナル管弦楽団
7月6日	トリニティ・アイリッシュ・ダンス
10月9日	Disney on CLASSIC
10月16日	古典芸能・落語鑑賞会
10月23日	荘村清志・錦織健 デュオ・リサイタル
11月15日	雅楽
11月16日	ウィーン・ピアノ四重奏団
11月27日	オペラ「かぐや姫」
11月29日	ゲルハルト・オピッツ・ピアノ・リサイタル
12月17日	サンクトペテルブルグ室内合奏団 ～クリスマス・コンサート～
12月19日	映画「英国王のスピーチ」

B 女性教養講座（全 16 講座）

日付	演題	講師
4月25日	安全安心な社会にむけて	明治大学教授・工学博士 北野 大 氏
5月9日	超高齢社会とどう向き合うか	一橋大学名誉教授・経済学博士 石 弘光 氏
5月16日	これからの日本と女性	衆議院議員・自由民主党消費者問題調査会会長 野田聖子 氏
5月30日	夢をつなぐ 心をつなぐ	タレント サヘル・ローズ 氏
6月2日	ひとの心をつかむ	東北学院大学教授・演出家 下館和巳 氏
6月6日	世界の構造転換と日本の進路	財団法人日本総合研究所理事長・多摩大学学長 寺島実郎 氏
6月28日	シンポジウム・パネルディスカッション グローバル人材を育てるー女性の新しいチャレンジー	パネリスト ハーバード大学経営大学院教授 竹内 弘高 (株)ローソン代表取締役社長 新浪 剛史 ベルリッツ コーポレーション会長兼社長兼CEO 内永 ゆか子 昭和女子大学学長 坂東真理子
7月4日	自分で守るこころの健康 ～うつへの対処～	国家公務員共済組合連合会九段坂病院副院長 (心療内科) 山岡昌之 氏
7月11日	産婦人科医からのメッセージ 女性の心とからだ、正しい知識を。	産婦人科医師・「性と健康を考える女性専門家の会」会長 堀口雅子 氏
10月10日	女性の敬語	明海大学教授 井上史雄 氏
10月17日	女性にとっての筋肉 ー美容・健康そして充実した人生のための 筋肉の作り方	東京大学大学院総合文化研究科・生命環境科学系 教授 石井直方 氏
10月31日	学力をつける心理学	国際医療福祉大学臨床心理学専攻教授 和田秀樹 氏
11月7日	国際人権活動から日本を見つめ直す	ヒューマン・ライツ・ウォッチ 日本代表 土井香苗 氏
11月14日	日本とオーストラリア ーよきパートナーとしてー	駐日オーストラリア大使 ブルース・ミラー 氏
11月21日	女子学生のためのサバイバル戦略	東京大学名誉教授・NPO 法人ウィメンズアクションネット ワーク理事長 上野千鶴子 氏
12月12日	ストレス社会を乗り切る笑いの効用	NPO 法人健康笑い塾主宰 中井宏次 氏 (葉家さく臓)

1. 展覧会

2012 年度に実施した展覧会は以下の通りである。

日程	内容
4月2日→4月18日	光葉博物館収蔵 授業資料展 2012 ～宮廷装束を中心として～
5月14日→6月30日	[春の特別展] センチュリー文化財団寄贈コレクション展
7月11日→8月26日 (18日間)	[収蔵資料展] 韓国の民俗資料
11月5日→12月1日	[秋の特別展] 甦る近代建築 民家・教会・議事堂 －調査、記録、復元(学生によるゼミ活動の成果)－
1月9日→2月8日	新春収蔵資料展
2月25日→3月16日	卒業制作展 2012

2. 刊行物

2012 年度に発行した刊行物は以下の通りである。

- A 光葉博物館報 No.16
- B 春の特別展「センチュリー文化財団寄贈コレクション展」展覧会パンフレット
- C 秋の特別展「甦る近代建築 民家・教会・議事堂 ー調査、記録、復元(学生によるゼミ活動の成果)ー」展覧会図録
- D 「昭和女子大学光葉博物館コレクション 世界の仮面」目録

1. 施設の活用状況

2012年度に提供した他大学・社会人研修プログラムは以下の通りである。(全10プログラム)

	プログラム名	対象	期間	人数
1	春期15週間ボストンプログラム	札幌国際大学	4月4日→7月28日	1人
2	JTBボストン満喫熟年留学	一般社会人	6月24日→7月6日	10人
4	同志社女子大学	同志社女子大学	8月18日→8月22日	8人
5	Boston Summer Session	立命館大学	8月20日→9月16日	43人
6	Boston Summer Session	大学コンソーシアム京都	8月20日→9月15日	7人
7	Boston Summer Session	札幌国際大学	8月20日→9月17日	1人
8	成人式ツアー	ボストン滞在学生家族	1月10日→1月14日	35人
9	立命館CELOP	立命館大学	2月9日→3月11日	49人
10	アメリカ栄養士研修	京都光華女子大学	2月19日→3月5日	10人
11	神戸薬科大学	神戸薬科大学	3月6日→3月17日	14人
12	湘南高校	湘南高校	3月23日→3月27日	44人
13	同志社香里高等学校	同志社香里高等学校	3月25日→3月30日	52人

特定非営利活動法人 NPO 昭和

1. 「子育てステーション世田谷」の運営と地域貢献活動

世田谷区の委託を受けて子育てステーションを運営し、積極的に自主事業を実施した。

子育てステーション世田谷（昭和女子大学オープンカレッジ棟内）	
施設名	状況
おでかけひろば SHIP	区内の子育て家族の集いのひろば 年間延べ 12,831 組・26,457 人（1 日平均 35.8 組、73.9 人）が来室した。 NPO 職員が 1,364 件の子育て相談に対応した。 お誕生会・各種子育て支援イベントを毎月企画し実施した。
ほっとステイ SHIP DAY NURSERY	区内在住の就学前の子どもの一時預かり施設 年間延べ 3,143 人（1 日平均 9 人）を保育した。
発達相談	発達障害相談 昭和女子大学生生活心理研究所が年間 128 件の発達障害相談に応じた。
昭和ナースリー	認証保育所・認定こども園（0 歳児から就学前） 2013 年 4 月初日の在籍児童数は 70 人（定員 66 人）

2. 「世田谷区立男女共同参画センターらぶらす」の運営と地域貢献活動

A 「わくわくワークフェスタ」の開催

世田谷区内の女性起業家の出展による「起業ミニメッセ」と講演会・親子向けイベントを企画・運営した。

日時	11 月 24・25 日
場所	キャロットタワー 4・5 階 生活工房
起業ミニメッセ出展 事業者数	56 団体
来場者数（2 日間）	2,373 人
実施イベント	<p>①起業講座：</p> <p>「女性が起業するときの、強みと課題」 講師：蟹瀬令子さん（レナ・ジャポン・インスティテュート株式会社代表）</p> <p>「あなたもできるコミュニティビジネス」 講師：澤登信子さん（株式会社ライフカルチャーセンター代表取締役）</p> <p>「フェアトレードショップのつくりかた」 講師：長谷川輝美さん（ウイメンズショップ・パッチワーク代表）</p> <p>「集客 UP・地元とつながるための PR 編集のコツ」 講師：柴田真希さん（NPO 法人まちこらぼ代表理事）</p> <p>「売上 UP・知っておきたいネット集客の基礎知識」 講師：吉枝ゆき子さん（ソフィットウェブプランニング代表）</p> <p>②親子イベント</p> <p>「あそびのおもちゃ箱」 講師：街のお楽しませやさん・梅ちゃん、うちむらかおりさん（劇団みるき〜うえい代表）、まつひらまみさん（赤ちゃん手話研究所）</p>

	<p>「バルーンで遊ぼう」 講師：ブービーさん、街のお楽しませやさん・梅ちゃん ③女性のための起業なんでも相談 相談員：溝口晃子さん（公益財団法人世田谷区産業振興公社 創業総合相談相談員）、水村裕一さん（東京商工会議所 創業・起業窓口相談 相談員）</p>
--	---

B 「世田谷区制 80 周年 らぶらすフェスタ」の開催

世田谷区制 80 周年記念イベントとして、世田谷区男女共同参画プラン調整計画策定の周知と、らぶらす登録団体や区民の男女共同参画の活動推進のためのシンポジウムと交流会を企画・運営した。

日時	1月19日（土）
場所	北沢タウンホール 2階（シンポジウム） 世田谷区立男女共同参画センターらぶらす 10・11階（交流会）
参加者	217人
実施イベント	<p>①らぶらすシンポジウム 「これからの男女共同参画推進のために～防災から考える」 コーディネーター：広岡守穂（中央大学教授） パネラー：樋口恵子さん（NPO法人高齢社会をよくする女性の会理事長）、木須八重子さん（前仙台市宮城野区長、公益財団法人せんだい男女共同参画財団副理事長）、保坂展人（世田谷区長）</p> <p>②らぶらす交流会 地域の情報提供者：小野村登さん（社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会北沢地域所長）、柏雅康さん（しもきた商店街振興組合理事長）、矢郷恵子さん（有限会社毎日の生活研究所代表取締役） 協力団体：ブリーズノート、かまいキッチン、シマパン、パティスリーバナナや</p> <p>③その他：ミニコンサート、手織り機でのリボン織り体験、ビデオ上映、ギャラリー展示、お菓子の販売</p>

C 講座の企画・運営

2012年度は、下記のテーマで講座を企画・実施した。

テーマ	講座数	受講者数（延べ人数）
男女の人権の尊重	9	999人
あらゆる分野への男女共同参画の促進	15	1,304人
少子高齢化社会の男女の自立を促進する	13	483人
男女が共にいきいきと働くことができる環境を整える	13	2,519人
計	50	5,305人

D 蔵書の充実と利用の促進

昭和女子大学の教授や図書館司書と選書会議を開催し、施設の蔵書を充実させて利用を促進した。

蔵書数	図書	児童書	ビデオ	行政資料
20,221冊	17,288冊	523冊	524冊	1,886冊

図書利用者数	登録者数
1,841人	5,151人